授業科目	動物愛護・適正飼養関連法規	担当教員	前鼻　彰人		
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科２年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態		授業回数	８回	時間数	15 時間
授業目的	動物の看護及び適正飼育に関する様々な法規について学び、人と動物の共生のあり方等を理解する。				
到達目標	愛護・適正飼養関連行政法規や社会福祉・環境衛生法規、野生動物等に関わる法律及び条約について理解する。				
テキスト・参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ５巻　公衆衛生学／動物看護関連法規／愛玩動物・適正飼養関連法規				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準
	試験	70	評価試験：70% 小テスト：30%
	レポート		
	小テスト	30	
	提出物		
	その他		

履修上の留意事項	

履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容
	1	愛玩・適正飼養関連法規 1	動物の愛護及び管理に関する法律の理解①
	2	愛玩・適正飼養関連法規 2	動物の愛護及び管理に関する法律の理解①←②？
	3	愛玩・適正飼養関連法規 3	愛玩動物用飼料の安全性の確保に関する法律の理解、小テスト
	4	社会福祉行政・環境衛生行政　1	身体障がい者補助犬法
	5	社会福祉行政・環境衛生行政　2	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、小テスト
	6	社会福祉行政・環境衛生行政　3	化製場等に関する法律
	7	野生動物等に関わる法律 1	生物多様性、外来生物法、種の保存法、鳥獣保護法
	8	野生動物等に関わる法律 2	ワシントン条約、ラムサール条約、自然公園法、文化財保護法、小テスト

授業科目	動物愛護・適正飼養関連法規	担当教員 実務経験	前鼻　彰人 有：■　　無：□	動物病院
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年・後期	担当教員 実務経験		
授業形態				
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		

授業科目	動物看護学概論	担当教員	中山　美帆		
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科２年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態		授業回数	15 回	時間数	30 時間
授業目的	獣医療の歴史や愛玩動物看護師の職業倫理について学び、専門職としての社会的責務を理解し職業意識を形成する。				
到達目標	動物看護の基本となる概念を把握し、動物看護の提供体制、愛玩動物看護師の社会的立場を理解する。				
テキスト・参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ４巻　動物看護学概論／人と動物の関係学／生命倫理・動物福祉				

評価方法・評価基準

評価方法	評価割合(%)	評価基準
試験	70	評価試験：７０％ 小テスト：３０％
レポート	0	
小テスト	30	
提出物	0	
その他	0	

履修上の留意事項

履修主題・履修内容

回	履修主題	履修内容
1	獣医療の歴史と概念　1	獣医療の歴史
2	獣医療の歴史と概念　2	獣医療倫理
3	獣医療の歴史と概念　3	動物看護の歴史
4	獣医療の歴史と概念　4	国際的な動物看護師との比較・小テスト
5	動物看護学　1	動物看護理論
6	動物看護学　2	動物看護学の成立と高等教育
7	愛玩動物看護師　1	誕生への道のり①
8	愛玩動物看護師　2	誕生への道のり②・小テスト
9	動物看護師の役割と概念1	動物看護とは
10	動物看護師の役割と概念2	動物看護倫理①
11	動物看護師の役割と概念3	動物看護倫理②
12	動物看護師の役割と概念4	動物の福祉・健康・ＱＯＬ
13	動物看護師の役割と概念5	動物看護に影響を与える環境要因
14	動物看護師の役割と概念6	動物看護師の役割
15	動物看護師の役割と概念7	動物看護の探求・小テスト

授業科目	動物看護学概論	担当教員 実務経験	中山　美帆 有：■　　無：□	動物病院
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年・前期	担当教員 実務経験		
授業形態				
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		

授業科目	動物内科看護学Ⅱ	担当教員	前鼻　彰人		
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科２年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態		授業回数	15 回	時間数	30 時間
授業目的	内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査、採血、投薬、輸液、輸血、画像判断に必要な検査、所見の記録等について理解する。				
到達目標	検査、処置、輸液、輸血に関する技術を理解する。				
テキスト・参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ７巻　動物内科看護学／動物臨床検査学				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準
	試験	70	評価試験：70% 小テスト：30%
	レポート		
	小テスト	30	
	提出物		
	その他		

履修上の留意事項	

履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容
	1	検査・処置に必要な技術 1	注射器の基本
	2	検査・処置に必要な技術 2	採血の基礎
	3	検査・処置に必要な技術 3	採尿の基礎
	4	検査・処置に必要な技術 4	穿刺と吸引、小テスト
	5	検査・処置に必要な技術 5	カテーテルの取り扱い
	6	検査・処置に必要な技術 6	マイクロチップの基礎
	7	検査・処置に必要な技術 7	その他の検査、処置に必要な技術、小テスト
	8	投薬に関わる技術	薬剤の注射法
	9	輸液に関わる技術　1	輸液の基礎
	10	輸液に関わる技術　2	輸液の手技
	11	輸液に関わる技術　3	留置の設置
	12	輸液に関わる技術　4	その他、輸液に関わる必要な知識、小テスト
	13	輸血に関わる技術　1	輸血の基礎と手技
	14	輸血に関わる技術　2	輸血製剤と副反応
	15	輸血に関わる技術　3	その他、輸血に関わる必要な技術

授業科目	動物内科看護学Ⅱ	担当教員 実務経験	前鼻　彰人 有：■　　無：□	動物病院
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年・前期	担当教員 実務経験		
授業形態				
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		

授業科目	動物内科看護学Ⅲ	担当教員	前鼻　彰人		
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科２年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態		授業回数	15 回	時間数	30 時間
授業目的	内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査、採血、投薬、輸液、輸血、画像判断に必要な検査、所見の記録等について理解する。				
到達目標	各種検査に関わる技術を理解する。				
テキスト・参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ７巻　動物内科看護学／動物臨床検査学				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準
	試験	70	評価試験：70% 小テスト：30%
	レポート		
	小テスト	30	
	提出物		
	その他		

履修上の留意事項	

履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容
	1	Ｘ線検査に関わる技術　1	Ｘ線検査の基礎
	2	Ｘ線検査に関わる技術　2	検査の実施方法とそれに関する知識
	3	Ｘ線検査に関わる技術　3	その他の検査方法と現像
	4	超音波検査に関わる技術 1	超音波検査の基礎
	5	超音波検査に関わる技術 2	超音波検査の特徴
	6	心電図と血圧に関わる技術 1	心電図検査の基礎と特徴、小テスト
	7	心電図と血圧に関わる技術 2	血圧測定の基礎と特徴
	8	眼科検査に関わる技術　1	各種検査法、小テスト
	9	眼科検査に関わる技術　2	眼科検査の特徴
	10	皮膚と耳の検査に関わる技術　1	皮膚病変の観察と記録法
	11	皮膚と耳の検査に関わる技術　2	各種検査法
	12	皮膚と耳の検査に関わる技術　3	外耳道の検査法
	13	神経学的検査に関わる技術	基礎と反射、評価方法、小テスト
	14	内視鏡検査に関わる技術	基礎と実施方法
	15	CT/MRI に関わる技術	CT/MRI の概要と基礎

授業科目	動物内科看護学Ⅲ	担当教員 実務経験	前鼻　彰人 有：■　　無：□	動物病院
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年・後期	担当教員 実務経験		
授業形態				
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		

授業科目	動物外科看護学Ⅰ	担当教員	前鼻　彰人		
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科２年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態		授業回数	15 回	時間数	30 時間
授業目的	外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの周術期の流れを系統的に理解し、安全な手術の実施に必要な知識を修得する。				
到達目標	術前検査の方法や器具、縫合材の取り扱い等を理解する。				
テキスト・参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ８巻　動物栄養学／動物外科看護学／動物医療コミュニケーション				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準
	試験	70	評価試験：70% 小テスト：30%
	レポート		
	小テスト	30	
	提出物		
	その他		

履修上の留意事項	

履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容
	1	術前検査　1	動物看護師の役割
	2	術前検査　2	術前検査と術前手続き
	3	術前検査　3	消毒の準備
	4	術前検査　4	動物の術前準備①、小テスト
	5	術前検査　5	動物の術前準備②
	6	術前検査　6	手術室に入るとき、小テスト
	7	術前検査　7	手指の消毒法
	8	術前検査　8	ガウン、グローブの装着法
	9	外科器具　1	一般器具の名称と取り扱い
	10	外科器具　2	その他の器具の名称と取り扱い
	11	外科器具　3	手入れ方法と維持管理、小テスト
	12	外科器具　4	器具の滅菌
	13	縫合材料と縫合法　1	種類、分類や特徴
	14	縫合材料と縫合法　2	縫合針の種類、分類や特徴
	15	縫合材料と縫合法　3	一般的な縫合法

授業科目	動物外科看護学Ⅰ	担当教員 実務経験	前鼻　彰人 有：■　　無：□	動物病院
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年・前期	担当教員 実務経験		
授業形態				
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		

授業科目	動物臨床看護学各論Ⅱ	担当教員	岩崎　忍		
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科２年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態		授業回数	15 回	時間数	30 時間
授業目的	様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法について理解する。				
到達目標	消化器・栄養代謝性疾患や呼吸器系疾患に関して理解する。				
テキスト・参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ９巻　動物臨床看護学総論／動物臨床看護学各論				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準
	試験	70	評価試験：70% 小テスト：30%
	レポート		
	小テスト	30	
	提出物		
	その他		

履修上の留意事項	

履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容
	1	消化器・栄養代謝性疾患 1	消化器の構成
	2	消化器・栄養代謝性疾患 2	口頭と咽頭の疾患
	3	消化器・栄養代謝性疾患 3	食道と胃の疾患①
	4	消化器・栄養代謝性疾患 4	食道と胃の疾患②
	5	消化器・栄養代謝性疾患 5	小腸、大腸、肛門の疾患
	6	消化器・栄養代謝性疾患 6	肝臓、胆嚢、胆管の疾患
	7	消化器・栄養代謝性疾患 7	膵臓の疾患・小テスト
	8	消化器・栄養代謝性疾患 8	腹腔、腹膜の疾患
	9	呼吸器系疾患　1	鼻腔疾患
	10	呼吸器系疾患　2	咽頭疾患
	11	呼吸器系疾患　3	肺、気管支疾患
	12	呼吸器系疾患　4	胸腔疾患
	13	呼吸器系疾患　5	栄養性代謝疾患
	14	呼吸器系疾患　6	幼齢期の呼吸器疾患
	15	呼吸器系疾患　7	老齢期の呼吸器疾患・小テスト

授業科目	動物臨床看護学各論Ⅱ	担当教員 実務経験	岩崎　忍 有：■　　無：□	動物病院
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年・前期	担当教員 実務経験		
授業形態				
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		

授業科目	動物臨床看護学各論Ⅲ	担当教員	岩崎　忍		
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科２年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態		授業回数	15 回	時間数	30 時間
授業目的	様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法について理解する。				
到達目標	循環器系疾患、泌尿器系疾患、生殖器系疾患に関して理解する。				
テキスト・参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ９巻　動物臨床看護学総論／動物臨床看護学各論				

評価方法・評価基準

評価方法	評価割合(%)	評価基準
試験	70	評価試験：70% 小テスト：30%
レポート		
小テスト	30	
提出物		
その他		

履修上の留意事項	

履修主題・履修内容

回	履修主題	履修内容
1	循環器系疾患　1	先天性疾患（心室中隔欠損症、心房中隔欠損症）
2	循環器系疾患　2	先天性疾患（動脈管開存症、ファロー四徴症）
3	循環器系疾患　3	先天性疾患（肺動脈狭窄症、大動脈狭窄症）
4	循環器系疾患　4	先天性疾患（僧帽弁閉鎖不全症、三尖弁閉鎖不全症）
5	循環器系疾患　5	後天性疾患（心筋症、心不全）
6	循環器系疾患　6	その他の循環器系疾患、小テスト
7	泌尿器系疾患　1	腎臓病
8	泌尿器系疾患　2	尿路感染、尿路結石症
9	泌尿器系疾患　3	猫の下部尿路疾患
10	泌尿器系疾患　4	その他の泌尿器系疾患、小テスト
11	生殖器系疾患　1	メスの生殖器疾患
12	生殖器系疾患　2	オスの生殖器疾患
13	生殖器系疾患　3	新生子疾患、奇形、その他生殖系疾患
14	眼科・耳科疾患　1	耳、眼に生じる代表的な疾患　1
15	眼科・耳科疾患　2	耳、眼に生じる代表的な疾患　2、小テスト

授業科目	動物臨床看護学各論Ⅲ	担当教員 実務経験	岩崎　忍 有：■　　無：□	動物病院
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年・後期	担当教員 実務経験		
授業形態				
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		

授業科目	動物感染症学Ⅰ	担当教員	佐藤　真帆		
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態		授業回数	15 回	時間数	30 時間
授業目的	微生物や寄生虫の分類、生物学的特徴、伝播様式や発病のメカニズムについて学び、検査や診断、衛生管理、予防・治療法など感染症対策の基礎について理解する。感染防御に関わる免疫学の基礎について理解する。				
到達目標	微生物の総論と検査方法、免疫の関わりを理解する。				
テキスト・参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ 3 巻　動物感染症学				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準
	試験	70	評価試験：70% 小テスト：30%
	レポート		
	小テスト	30	
	提出物		
	その他		

履修上の留意事項			
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容
	1	総論　1	ウイルス学総論①
	2	総論　2	ウイルス学総論②
	3	総論　3	細菌学総論①
	4	総論　4	細菌学総論②
	5	総論　5	真菌学総論
	6	総論　6	プリオン総論
	7	検査　1	検体採取と取り扱い、小テスト
	8	検査　2	各微生物の検査①
	9	検査　3	各微生物の検査②
	10	検査　4	薬剤感受性試験
	11	免疫学の基礎と応用　1	生体防御機構・小テスト
	12	免疫学の基礎と応用　2	ワクチンとワクチネーション
	13	免疫学の基礎と応用　3	抗ウイルス薬と抗菌薬
	14	感染症の制御・制圧　1	動物感染症対策①
	15	感染症の制御・制圧　2	動物感染症対策②・小テスト

授業科目	動物感染症学Ⅰ	担当教員 実務経験	佐藤　真帆 有：■　　無：□	動物病院
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年・前期	担当教員 実務経験		
授業形態				
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		

授業科目	動物内科看護学実習Ⅰ	担当教員	前鼻　彰人		
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科２年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態		授業回数	15 回	時間数	30 時間
授業目的	内科診療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。				
到達目標	身体検査や診察補助の技術を修得する。				
テキスト・参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠動物看護実習テキスト（第３版） 愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ７巻　動物内科看護学／動物臨床検査学				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準
	試験	70	評価試験：70% 小テスト：30%
	レポート		
	小テスト	30	
	提出物		
	その他		

履修上の留意事項	

履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容
	1	診察補助　1	基本的な保定①立位、座位、伏臥位、仰臥位、横臥位等
	2	診察補助　2	基本的な保定②立位、座位、伏臥位、仰臥位、横臥位等
	3	診察補助　3	基本的な保定③立位、座位、伏臥位、仰臥位、横臥位等、小テスト
	4	診察補助　4	基本的な保定④立位、座位、伏臥位、仰臥位、横臥位等
	5	診察補助　5	基本的な保定⑤立位、座位、伏臥位、仰臥位、横臥位等
	6	診察補助　6	基本的な保定⑥立位、座位、伏臥位、仰臥位、横臥位等
	7	診察補助　7	基本的な保定⑦立位、座位、伏臥位、仰臥位、横臥位等
	8	身体検査　2	体重測定と浅在リンパ節、小テスト
	9	身体検査　2	意識レベルと粘膜色
	10	バイタルサイン　1	バイタルサイン①体温
	11	バイタルサイン　2	バイタルサイン②心拍（脈拍）
	12	バイタルサイン　3	バイタルサイン③呼吸数
	13	バイタルサイン　4	バイタルサイン④CRT
	14	バイタルサイン　5	バイタルサイン⑤股動脈圧（血圧）
	15	バイタルサイン　6	バイタルサイン⑥栄養状態評価とペインスケール、小テスト

授業科目	動物内科看護学実習Ⅰ	担当教員 実務経験	前鼻　彰人 有：■　　無：□	動物病院
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年・前期	担当教員 実務経験		
授業形態				
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		

授業科目	動物内科看護学実習Ⅱ	担当教員	前鼻　彰人		
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科２年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態		授業回数	15 回	時間数	30 時間
授業目的	内科診療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。				
到達目標	診察補助の技術を修得する。				
テキスト・参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠動物看護実習テキスト（第３版） 愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ７巻　動物内科看護学／動物臨床検査学				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準
	試験	70	評価試験：70% 小テスト：30%
	レポート		
	小テスト	30	
	提出物		
	その他		

履修上の留意事項	

履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容
	1	診察補助　1	注射器の取り扱い①基本操作
	2	診察補助　2	注射器の取り扱い②アンプル
	3	診察補助　3	注射器の取り扱い②アンプル
	4	診察補助　4	薬剤の取り扱い①錠剤の準備、分包、小テスト
	5	診察補助　5	薬剤の取り扱い②粉剤の準備、分包
	6	診察補助　6	薬剤の取り扱い③経口投与と注射の手段　1
	7	診察補助　7	薬剤の取り扱い④経口投与と注射の手段　2
	8	診察補助　8	採血の手技①、小テスト
	9	診察補助　9	採血の手技②
	10	診察補助　10	留置の手技①
	11	診察補助　11	留置の手技②
	12	診察補助　12	輸液の準備（皮下、静脈）、小テスト
	13	診察補助　13	輸液ポンプの取り扱い
	14	診察補助　14	シリンジポンプの取り扱い
	15	診察補助　15	輸液のモニタリング

授業科目	動物内科看護学実習 II	担当教員 実務経験	前鼻　彰人 有：■　　無：□	動物病院
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年・後期	担当教員 実務経験		
授業形態				
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		

授業科目	動物外科看護学実習Ⅰ	担当教員	前鼻　彰人		
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科２年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態		授業回数	15 回	時間数	30 時間
授業目的	手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など、動物外科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。				
到達目標	術前準備の技術を修得する。				
テキスト・参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠動物看護実習テキスト(第３版) 愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ８巻　動物栄養学／動物外科看護学／動物医療コミュニケーション				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準
	試験	70	評価試験：70% 小テスト：30%
	レポート		
	小テスト	30	
	提出物		
	その他		

履修上の留意事項	

履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容
	1	術前準備　1	周術期の流れ
	2	術前準備　2	術前検査と麻酔記録作成①
	3	術前準備　3	術前検査と麻酔記録作成②
	4	術前準備　4	留置準備、手順①
	5	術前準備　5	留置準備、手順②
	6	術前準備　6	術前準備に伴う保定①
	7	術前準備　7	術前準備に伴う保定②
	8	術前準備　8	患者動物の術前管理（三方活栓）①
	9	術前準備　9	患者動物の術前管理（三方活栓）②、小テスト
	10	術前準備　10	気管挿管の準備と手技①
	11	術前準備　11	気管挿管の準備と手技②
	12	術前準備　12	気管挿管の準備と手技③
	13	術前準備　13	動物の術前準備①
	14	術前準備　14	動物の術前準備②
	15	術前準備　15	モニターの接続方法、小テスト

授業科目	動物外科看護学実習Ⅰ	担当教員 実務経験	前鼻　彰人 有：■　　無：□	動物病院
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年・後期	担当教員 実務経験		
授業形態				
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		

授業科目	動物臨床検査学実習Ⅱ	担当教員	今木　康彦		
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態		授業回数	15 回	時間数	30 時間
授業目的	検体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を修得する。				
到達目標	検体検査の技術を修得する				
テキスト・参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠動物看護実習テキスト（第 3 版） 愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ 7 巻　動物内科看護学/動物臨床検査学				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準
	試験	70	評価試験:70% 小テスト:30%
	レポート		
	小テスト	30	
	提出物		
	その他		

履修上の留意事項	

履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容
	1	検体検査 1	簡易血清学的検査の手技
	2	検体検査 2	血液塗抹標本の作製①
	3	検体検査 3	血液塗抹標本の作製②
	4	検体検査 4	血液塗抹の観察①
	5	検体検査 5	血液塗抹の観察②
	6	検体検査 6	血液塗抹の観察③・小テスト
	7	検体検査 7	血液塗抹の百分比算出①
	8	検体検査 8	血液塗抹の百分比算出②
	9	生体検査 1	総合演習（採血～血液検査）①
	10	生体検査 2	総合演習（採血～血液検査）②・小テスト
	11	検体検査 9	細菌の取り扱いと培養検査
	12	検体検査 10	細菌に効果のある抗菌薬(薬剤感受性試験)
	13	検体検査 11	細胞診の検体の取り扱い
	14	検体検査 12	細胞診の準備
	15	検体検査 13	細胞診の補助・小テスト

授業科目	動物臨床検査学実習 II	担当教員 実務経験	今木　康彦 有：■　　無：□	動物病院
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年・前期	担当教員 実務経験		
授業形態				
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		

授業科目	動物看護総合実習Ⅱ	担当教員	佐藤　真帆		
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態		授業回数	33 回	時間数	65 時間
授業目的	実際の動物診療施設で診療業務に参加し、これまでに学んだ学習内容を統合する。診療施設の概要や機能、獣医師との連携、飼い主とのコミュニケーション、愛玩動物看護師としての役割や責任について理解し、実務能力を修得する。				
到達目標	愛玩動物看護師の技術を修得する。				
テキスト・参考図書等					

評価方法・評価基準

評価方法	評価割合(%)	評価基準
試験		・実習日誌：20% ・実習評価表：40% ・実習オリエンテーションレポート：20% ・実習報告会評価：20%
レポート		
小テスト		
提出物		
その他	100	

履修上の留意事項

履修主題・履修内容

回	履修主題	履修内容
1	実習前オリエンテーション 1	校長講話
2	実習前オリエンテーション 2	実習に必要な基礎知識の復習
3	実習前オリエンテーション 3	実習に必要な基礎知識の復習
4	実習前オリエンテーション 4	実習に必要な基礎知識の復習
5	実習前オリエンテーション 5	実習に必要な基礎知識の復習
6	実習前オリエンテーション 6	実習に必要な基礎知識の復習
7	実習前オリエンテーション 7	実習に必要な基礎知識の復習
8	実習前オリエンテーション 8	実習に必要な基礎知識の復習
9	動物病院実習	食餌に関する看護及び技術の実践 排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践 投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践 感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践 周術期の看護技術の実践 動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分包方法の実践 術前の準備の実践 動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践
10	動物病院実習	食餌に関する看護及び技術の実践 排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践 投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践 感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践 周術期の看護技術の実践

			動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分包方法の実践 術前の準備の実践 動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践
	11	動物病院実習	食餌に関する看護及び技術の実践 排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践 投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践 感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践 周術期の看護技術の実践 動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分包方法の実践 術前の準備の実践 動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践
	12	動物病院実習	食餌に関する看護及び技術の実践 排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践 投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践 感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践 周術期の看護技術の実践 動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分包方法の実践 術前の準備の実践 動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践
	13	動物病院実習	食餌に関する看護及び技術の実践 排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践 投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践 感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践 周術期の看護技術の実践 動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分包方法の実践 術前の準備の実践 動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践
	14	動物病院実習	食餌に関する看護及び技術の実践 排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践 投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践 感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践 周術期の看護技術の実践 動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分包方法の実践 術前の準備の実践 動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践
	15	動物病院実習	食餌に関する看護及び技術の実践 排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践 投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践 感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践 周術期の看護技術の実践 動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分

			包方法の実践 術前の準備の実践 動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践
	16	動物病院実習	食餌に関する看護及び技術の実践 排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践 投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践 感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践 周術期の看護技術の実践 動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分包方法の実践 術前の準備の実践 動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践
	17	動物病院実習	食餌に関する看護及び技術の実践 排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践 投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践 感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践 周術期の看護技術の実践 動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分包方法の実践 術前の準備の実践 動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践
	18	動物病院実習	食餌に関する看護及び技術の実践 排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践 投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践 感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践 周術期の看護技術の実践 動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分包方法の実践 術前の準備の実践 動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践
	19	動物病院実習	食餌に関する看護及び技術の実践 排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践 投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践 感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践 周術期の看護技術の実践 動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分包方法の実践 術前の準備の実践 動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践
	20	動物病院実習	食餌に関する看護及び技術の実践 排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践 投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践 感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践 周術期の看護技術の実践 動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分包方法の実践 術前の準備の実践

			動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践
	21	動物病院実習	食餌に関する看護及び技術の実践 排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践 投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践 感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践 周術期の看護技術の実践 動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分包方法の実践 術前の準備の実践 動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践
	22	動物病院実習	食餌に関する看護及び技術の実践 排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践 投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践 感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践 周術期の看護技術の実践 動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分包方法の実践 術前の準備の実践 動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践
	23	動物病院実習	食餌に関する看護及び技術の実践 排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践 投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践 感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践 周術期の看護技術の実践 動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分包方法の実践 術前の準備の実践 動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践
	24	動物病院実習	食餌に関する看護及び技術の実践 排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践 投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践 感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践 周術期の看護技術の実践 動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分包方法の実践 術前の準備の実践 動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践
	25	動物病院実習	食餌に関する看護及び技術の実践 排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践 投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践 感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践 周術期の看護技術の実践 動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分包方法の実践 術前の準備の実践 動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践

	26	動物病院実習	食餌に関する看護及び技術の実践 排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践 投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践 感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践 周術期の看護技術の実践 動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分包方法の実践 術前の準備の実践 動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践
	27	動物病院実習	食餌に関する看護及び技術の実践 排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践 投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践 感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践 周術期の看護技術の実践 動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分包方法の実践 術前の準備の実践 動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践
	28	動物病院実習	食餌に関する看護及び技術の実践 排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践 投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践 感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践 周術期の看護技術の実践 動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分包方法の実践 術前の準備の実践 動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践
	29	実習報告　1	パワーポイント作成
	30	実習報告　2	パワーポイント作成
	31	実習報告　3	パワーポイント作成
	32	実習報告　4	発表
	33	実習報告　5	発表

授業科目	動物看護総合実習Ⅱ	担当教員 実務経験	佐藤　真帆 有：■　　無：□	動物病院
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年・前期	担当教員 実務経験		
授業形態				
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		

授業科目	グルーミング演習Ⅲ	担当教員	中山　聡士		
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科２年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態		授業回数	30 回	時間数	60 時間
授業目的	グルーミングの目的と必要性を理解し、グルーミングの基礎技術を習得する。犬や猫に負担を与えない様保定し気持ちを考えて作業する。				
到達目標	シザーの扱いを習得、部分カット技術の習得。				
テキスト・参考図書等	グルーミング実習着・エプロン・グルーミング道具・ドッググルーマーズプロフェッショナルワークブック・ウィッグ				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準
	試験	60	実技試験または筆記試験、課題にて評価。 試験は授業内で実施の場合もあります。
	レポート		
	小テスト	40	
	提出物		
	その他		

履修上の留意事項	講義内容は進度により変更する事があります。 ウィッグを使用して授業を進行する場合もあります。 当日のモデル犬種により授業内容が変更になる場合があります。

履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容
	1	グルーミング実習　1	足裏中クリッパー、部分カット(ひげカット・足周り・お尻周り等)　全身カット
	2	グルーミング実習　1	足裏中クリッパー、部分カット(ひげカット・足周り・お尻周り等)　全身カット
	3	グルーミング実習　2	足裏中クリッパー・足裏の開き方①
	4	グルーミング実習　2	足裏中クリッパー・足裏の開き方①
	5	グルーミング実習　3	足裏中クリッパー・足裏の開き方②
	6	グルーミング実習　3	足裏中クリッパー・足裏の開き方②
	7	グルーミング実習　4	足裏中クリッパー・クリッパーの入れ方確認
	8	グルーミング実習　4	足裏中クリッパー・クリッパーの入れ方確認
	9	グルーミング実習　5	ブラッシング　（抜け毛・もつれ・毛玉などの処理を強化）①
	10	グルーミング実習　5	ブラッシング　（抜け毛・もつれ・毛玉などの処理を強化）①
	11	グルーミング実習　6	ブラッシング　（抜け毛・もつれ・毛玉などの処理を強化）②
	12	グルーミング実習　6	ブラッシング　（抜け毛・もつれ・毛玉などの処理を強化）②
	13	グルーミング実習　7	進度測定（小テスト）
	14	グルーミング実習　7	進度測定（小テスト）
	15	グルーミング実習　8	進度測定（小テスト）
	16	グルーミング実習　8	進度測定（小テスト）
	17	グルーミング実習　9	シャンプー・ドライング（犬種や毛質に合わせた作業）①
	18	グルーミング実習　9	シャンプー・ドライング（犬種や毛質に合わせた作業）①
	19	グルーミング実習　10	シャンプー・ドライング（犬種や毛質に合わせた作業）②
	20	グルーミング実習　10	シャンプー・ドライング（犬種や毛質に合わせた作業）②
	21	グルーミング実習　11	部分カット　（足回り・ひげカット中心）①

	22	グルーミング実習　11	部分カット　（足回り・ひげカット中心）①
	23	グルーミング実習　12	部分カット　（足回り・ひげカット中心）②
	24	グルーミング実習　12	部分カット　（足回り・ひげカット中心）②
	25	グルーミング実習　13	部分カット　（足回り・ひげカット中心）③
	26	グルーミング実習　13	部分カット　（足回り・ひげカット中心）③
	27	グルーミング実習　14	部分カット　（足回り　ボディクリッピングなど）
	28	グルーミング実習　14	部分カット　（足回り　ボディクリッピングなど）
	29	グルーミング実習　15	部分カット　（足回り　ボディクリッピングなど）
	30	グルーミング実習　15	部分カット　（足回り　ボディクリッピングなど）

授業科目	グルーミング演習Ⅲ	担当教員 実務経験	鹿内千夏子 有：■　　無：□	トリマー
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年・後期	担当教員 実務経験		
授業形態				
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		

授業科目	ビジネスマナーⅢ	担当教員	古久保　英樹		
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科・2 年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態	講義	授業回数	8 回	時間数	15 時間
授業目的	社会人としての知識・マナー、自己の考えと進路研究。進路決定のための取り組み。				
到達目標	将来に向けた各々の考えを明確にし、次年度から早期の就職活動を可能にする。				
テキスト・参考図書等					

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準
	試験		提出物と授業中の取り組み姿勢を合わせ、総合的に評価します。
	レポート		
	小テスト		
	提出物	80	
	その他	20	

履修上の留意事項	

履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容
	1	就職指導 1	就職活動について(自己分析)
	2	就職指導 2	就職活動について(コミュニケーション力)
	3	就職指導 3	就職活動について(就職先について考える)
	4	就職指導 4	就職活動について(活動内容、求人の見方)
	5	就職指導 5	就職活動について（履歴書、志望動機）
	6	就職指導 6	就職活動について（受験時の行動、面接時の心構え）
	7	社会教養 1	社会人 1 年目、マナー・常識
	8	社会教養 2	社会人基礎力について

授業科目	ビジネスマナーⅢ	担当教員 実務経験	古久保　英樹	
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科・2 年・後期	担当教員 実務経験		
授業形態	講義			
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		

授業科目	動物災害看護学Ⅰ	担当教員	前鼻　彰人		
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態		授業回数	15 回	時間数	30 時間
授業目的	災害急性期に動物救護のための獣医療を支援するための知識、技術を修得する。				
到達目標	動物災害救命士				
テキスト・参考図書等					

評価方法・評価基準

評価方法	評価割合(%)	評価基準
試験	70	評価試験：70% 小テスト：30%
レポート		
小テスト	30	
提出物		
その他		

履修上の留意事項

履修主題・履修内容

回	履修主題	履修内容
1	災害を知る　1	災害の種類とリスク①
2	災害を知る　2	災害の種類とリスク②
3	災害を知る　3	災害の種類とリスク③
4	災害を知る　4	災害の種類とリスク④
5	ハザードマップ	ハザードマップの確認方法、小テスト
6	災害時に適応される法律 1	災害医療関連法規①
7	災害時に適応される法律 2	災害医療関連法規②
8	避難方法と避難生活　1	同行避難と同伴避難、小テスト
9	避難方法と避難生活　2	避難方法と必要物品
10	避難方法と避難生活　3	避難生活と人獣共通感染症
11	避難方法と避難生活　4	動物災害看護、小テスト
12	災害を知る　5	防災センター見学実習
13	災害を知る　5	防災センター見学実習
14	災害を知る　5	防災センター見学実習
15	災害を知る　5	防災センター見学実習

授業科目	動物災害看護学Ⅰ	担当教員 実務経験	前鼻　彰人 有：■　　無：□	動物病院
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年・後期	担当教員 実務経験		
授業形態				
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		

授業科目	国家試験対策Ⅰ	担当教員	前鼻　彰人		
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態		授業回数	15 回	時間数	30 時間
授業目的	愛玩動物看護師免許取得に向けて、問題演習を行い資格取得に必要な知識を復習する。				
到達目標	愛玩動物看護師免許取得				
テキスト・参考図書等					

評価方法・評価基準

評価方法	評価割合(%)	評価基準
試験	70	評価試験：70% 小テスト：30%
レポート		
小テスト	30	
提出物		
その他		

履修上の留意事項	

履修主題・履修内容

回	履修主題	履修内容
1	Computer Based Training	過去問一問一答問題（2020）　①
2	Computer Based Training	過去問一問一答問題（2020）　②
3	Computer Based Training	2020 年度統一認定試験（一般・実地）、小テスト
4	Computer Based Training	過去問一問一答問題（2019）　①
5	Computer Based Training	過去問一問一答問題（2019）　②
6	Computer Based Training	2019 年度統一認定試験（一般・実地）、小テスト
7	Computer Based Training	過去問一問一答問題（2018）　①
8	Computer Based Training	過去問一問一答問題（2018）　②
9	Computer Based Training	2018 年度統一認定試験（一般・実地）、小テスト
10	Computer Based Training	過去問一問一答問題（2017）　①
11	Computer Based Training	過去問一問一答問題（2017）　②
12	Computer Based Training	2017 年度統一認定試験（一般・実地）、小テスト
13	Computer Based Training	過去問一問一答問題（2016）　①
14	Computer Based Training	過去問一問一答問題（2016）　②
15	Computer Based Training	2016 年度統一認定試験（一般・実地）、小テスト

授業科目	国家試験対策Ⅰ	担当教員 実務経験	佐藤　真帆 有：■　　無：□	動物病院
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年・後期	担当教員 実務経験		
授業形態				
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		

授業科目	グルーミング演習Ⅱ	担当教員	林　恵		
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科２年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態		授業回数	30 回	時間数	60 時間
授業目的	グルーミングの目的と必要性を理解し、グルーミングの基礎技術を習得する。犬や猫に負担を与えない様保定し気持ちを考えて作業する。				
到達目標	グルーミング基礎技術の向上				
テキスト・参考図書等	グルーミング実習着・エプロン・グルーミング道具・ウィッグ				

評価方法・評価基準

評価方法	評価割合(%)	評価基準
試験	60	実技試験または筆記試験、課題にて評価。 試験は授業内で実施の場合もあります。
レポート		
小テスト	40	
提出物		
その他		

履修上の留意事項

講義内容は進度により変更する事があります。
ウィッグを使用して授業を進行する場合もあります。
当日のモデル犬種により授業内容が変更になる場合があります。

履修主題・履修内容

回	履修主題	履修内容
1	グルーミング基礎実習　1	ベイジング前の作業の強化（ブラッシングを中心にもつれ毛、毛玉の処理）①
2	グルーミング基礎実習　1	ベイジング前の作業の強化（ブラッシングを中心にもつれ毛、毛玉の処理）①
3	グルーミング基礎実習　2	ベイジング前の作業の強化（ブラッシングを中心にもつれ毛、毛玉の処理）②
4	グルーミング基礎実習　2	ベイジング前の作業の強化（ブラッシングを中心にもつれ毛、毛玉の処理）②
5	グルーミング基礎実習　3	ベイジング前の作業の強化（爪切り・足裏クリッパー）①
6	グルーミング基礎実習　3	ベイジング前の作業の強化（爪切り・足裏クリッパー）①
7	グルーミング基礎実習　4	ベイジング前の作業の強化（爪切り・足裏クリッパー）②
8	グルーミング基礎実習　4	ベイジング前の作業の強化（爪切り・足裏クリッパー）②
9	グルーミング基礎実習　5	ベイジング前の作業の強化（耳掃除、肛門クリッパー等）①
10	グルーミング基礎実習　5	ベイジング前の作業の強化（耳掃除、肛門クリッパー等）①
11	グルーミング基礎実習　6	ベイジング前の作業の強化（耳掃除、肛門クリッパー等）②
12	グルーミング基礎実習　6	ベイジング前の作業の強化（耳掃除、肛門クリッパー等）②
13	グルーミング基礎実習　7	ベイシングの強化（予備洗い・肛門腺絞り等）①
14	グルーミング基礎実習　7	ベイシングの強化（予備洗い・肛門腺絞り等）①
15	グルーミング基礎実習　8	ベイシングの強化（予備洗い・肛門腺絞り等）②
16	グルーミング基礎実習　8	ベイシングの強化（予備洗い・肛門腺絞り等）②
17	グルーミング基礎実習　9	ベイシングの強化（シャンプー・リンス・すすぎ等）①
18	グルーミング基礎実習　9	ベイシングの強化（シャンプー・リンス・すすぎ等）①
19	グルーミング基礎実習　10	ベイシングの強化（シャンプー・リンス・すすぎ等）②
20	グルーミング基礎実習　10	ベイシングの強化（シャンプー・リンス・すすぎ等）②

	21	グルーミング基礎実習　11	進度測定（小テスト）
	22	グルーミング基礎実習　11	進度測定（小テスト）
	23	グルーミング基礎実習　12	進度測定（小テスト）
	24	グルーミング基礎実習　12	進度測定（小テスト）
	25	グルーミング基礎実習　13	タウェリング・ドライング強化（タウェリングの仕方確認）②
	26	グルーミング基礎実習　13	タウェリング・ドライング強化（タウェリングの仕方確認）②
	27	グルーミング基礎実習　14	部分カット　足回り
	28	グルーミング基礎実習　14	部分カット　足回り
	29	グルーミング基礎実習　15	部分カット　足回り
	30	グルーミング基礎実習　15	部分カット　足回り

授業科目	グルーミング演習Ⅱ	担当教員 実務経験	中下由衣 有：■　　無：□	トリマー
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年・前期	担当教員 実務経験		
授業形態				
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		

授業科目	愛玩対策Ⅱ	担当教員	佐藤　真帆		
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科２年・通年	必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態		授業回数	23 回	時間数	45 時間
授業目的	愛玩動物飼養管理士１級の合格レベル、知識を覚える。				
到達目標	愛玩動物飼養管理士１級に合格する。				
テキスト・参考図書等	愛玩動物飼養管理士１級教本第１巻・第２巻 課題報告問題集				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準
	試験	70	評価試験：70% 小テスト：30%
	レポート		
	小テスト	30	
	提出物		
	その他		

履修上の留意事項	

履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容
	1	動物の体の仕組みと働きⅡ	身体の仕組みと働き
	2	動物の遺伝と繁殖生理	動物の遺伝・動物の繁殖生理
	3	動物の行動と社会	動物の行動と社会
	4	適正飼養指導論	適正飼養指導論
	5	犬と猫の栄養学　1	栄養素とその機能・小テスト
	6	犬と猫の栄養学　2	犬と猫が必要とする栄養素
	7	犬と猫の栄養学　3	ライフステージと栄養　・　犬と猫のペットフードの進展
	8	動物関係法令　1	動物と法律　・　飼養動物と関係法令　・　野生動物と関係法令　①
	9	動物関係法令　2	動物と法律　・　飼養動物と関係法令　・　野生動物と関係法令　②
	10	動物愛護・適正飼養関連法規Ⅱ	動物愛護に関しての法律
	11	飼育動物の種類と特徴	産業動物と野生動物について・小テスト
	12	動物の疾病とその予防　1	犬の疾病とその予防　①
	13	動物の疾病とその予防　2	犬の疾病とその予防　②
	14	動物の疾病とその予防　3	猫の疾病とその予防　①
	15	動物の疾病とその予防　4	猫の疾病とその予防　②
	16	動物の飼養管理と公衆衛生	人と動物の共生に必要な公衆衛生・人と動物の共通感染症とその対策
	17	自然と人間・	自然環境と世界の動き　・　自然環境と人間のかかわり
	18	検定対策　1	課題報告問題・小テスト
	19	検定対策　2	課題報告問題
	20	検定対策　3	課題報告問題
	21	検定対策　4	課題報告問題
	22	検定対策　5	課題報告問題

	23	検定対策　6	課題報告問題

授業科目	愛玩対策Ⅱ	担当教員 実務経験	佐藤　真帆 有：■　　無：□	動物病院
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年・通年	担当教員 実務経験		
授業形態				
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		

授業科目	動物医療コミュニケーション	担当教員	中山　美帆		
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科２年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態		授業回数	15 回	時間数	30 時間
授業目的	事前問診、入院動物の容態説明、院内における他のスタッフとのコミュニケーションの基礎について理解する。				
到達目標	クライアントエデュケーションや院内コミュニケーション、院内の業務に関して理解する。				
テキスト・参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ８巻　動物栄養学／動物外科看護学／動物医療コミュニケーション				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準
	試験	70	評価試験：70% 小テスト：30%
	レポート		
	小テスト	30	
	提出物		
	その他		

履修上の留意事項	

履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容
	1	クライアントエデュケーション　1	予防接種
	2	クライアントエデュケーション　2	予防接種、小テスト
	3	クライアントエデュケーション　3	ノミ・ダニ予防
	4	クライアントエデュケーション　4	フィラリア予防、小テスト
	5	クライアントエデュケーション　5	歯科予防
	6	クライアントエデュケーション　6	去勢・不妊手術、小テスト
	7	院内コミュニケーション 1	インフォームドコンセント
	8	院内コミュニケーション 2	獣医療面接の基礎
	9	院内コミュニケーション 3	獣医療面接の実践
	10	院内業務　1	電話の対応方法①
	11	院内業務　2	電話の対応方法②、小テスト
	12	院内業務　3	受付と清算、小テスト
	13	院内業務　4	トラブル対応
	14	院内業務　5	物品購入や管理
	15	院内業務　6	ペット保険

授業科目	動物医療コミュニケーション	担当教員 実務経験	中山　美帆 有：■　　無：□	動物病院
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年・前期	担当教員 実務経験		
授業形態				
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		

授業科目	動物感染症学Ⅱ	担当教員	佐藤　真帆		
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態		授業回数	15 回	時間数	30 時間
授業目的	微生物や寄生虫の分類、生物学的特徴、伝播様式や発病のメカニズムについて学び、検査や診断、衛生管理、予防・治療法など感染症対策の基礎について理解する。感染防御に関わる免疫学の基礎について理解する。				
到達目標	ウイルス、細菌、真菌の分類や特徴と寄生虫学概論を理解する。				
テキスト・参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ 3 巻　動物感染症学				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準
	試験	70	評価試験：70% 小テスト：30%
	レポート		
	小テスト	30	
	提出物		
	その他		

履修上の留意事項			
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容
	1	動物感染症 1	ウイルス①（感染要因、経路、症状、治療、予防等）
	2	動物感染症 2	ウイルス②（感染要因、経路、症状、治療、予防等）
	3	動物感染症 3	ウイルス③（感染要因、経路、症状、治療、予防等）
	4	動物感染症 4	ウイルス④（感染要因、経路、症状、治療、予防等）
	5	動物感染症 5	ウイルス⑤（感染要因、経路、症状、治療、予防等）
	6	動物感染症 6	細菌①（感染要因、経路、症状、治療、予防等）・小テスト
	7	動物感染症 7	細菌②（感染要因、経路、症状、治療、予防等）
	8	動物感染症 8	細菌③（感染要因、経路、症状、治療、予防等）
	9	動物感染症 9	真菌①（感染要因、経路、症状、治療、予防等）
	10	動物感染症 10	真菌②（感染要因、経路、症状、治療、予防等）
	11	動物感染症 11	真菌③（感染要因、経路、症状、治療、予防等）
	12	動物寄生虫学総論　1	寄生虫学概論・小テスト
	13	動物寄生虫学総論　2	感染、伝播様式と病害
	14	動物寄生虫学総論　3	人獣共通感染症
	15	動物寄生虫学総論　4	寄生虫症の治療、看護、予防・小テスト

授業科目	動物感染症学Ⅱ	担当教員 実務経験	佐藤　真帆 有：■　　無：□	動物病院
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年・後期	担当教員 実務経験		
授業形態				
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		

授業科目	動物形態機能学Ⅲ	担当教員	岩崎　忍		
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科２年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態		授業回数	15 回	時間数	30 時間
授業目的	動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するとともに、病的変化について学ぶ基盤を確立する。				
到達目標	血液循環の仕組みと調節、泌尿器と体液調整、脳と神経について理解する。				
テキスト・参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ１巻　動物形態機能学/動物繁殖学				

評価方法・評価基準

評価方法	評価割合(%)	評価基準
試験	70	評価試験：70% 小テスト：30%
レポート		
小テスト	30	
提出物		
その他		

履修上の留意事項

履修主題・履修内容

回	履修主題	履修内容
1	血液循環とその調節　1	心臓の構造
2	血液循環とその調節　2	心臓の機能
3	血液循環とその調節　3	刺激伝導系と電気現象
4	血液循環とその調節　4	心電図と心音
5	血液循環とその調節　5	循環(血圧)の調節、血管の種類と構造、機能・小テスト
6	血液循環とその調節　6	脾臓とリンパ
7	泌尿器と体液調整　1	腎臓の構造と機能
8	泌尿器と体液調整　2	腎臓の再吸収と分泌、尿濃縮
9	泌尿器と体液調整　3	体液と調節・小テスト
10	泌尿器と体液調整　4	電解質バランス
11	泌尿器と体液調整　5	酸・塩基平衡
12	脳と神経　1	ニューロンの構成と活動電位、シナプス伝達・小テスト
13	脳と神経　2	脳と脊髄の構造と機能
14	脳と神経　3	体性神経の構成と機能
15	脳と神経　4	自律神経の構成と機能

授業科目	動物形態機能学Ⅲ	担当教員 実務経験	岩崎　忍 有：■　　無：□	動物病院
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年・前期	担当教員 実務経験		
授業形態				
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		

授業科目	動物形態機能学Ⅳ	担当教員	岩崎　忍		
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科２年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態		授業回数	15 回	時間数	30 時間
授業目的	動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するとともに、病的変化について学ぶ基盤を確立する。				
到達目標	感覚器官と情報伝達、内分泌とホルモンについて理解する。				
テキスト・参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ１巻　動物形態機能学/動物繁殖学				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準
	試験	70	評価試験：70% 小テスト：30%
	レポート		
	小テスト	30	
	提出物		
	その他		

履修上の留意事項	

履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容
	1	感覚と情報伝達　1	感覚系と受容器、閾値
	2	感覚と情報伝達　2	体性感覚、味覚、嗅覚
	3	感覚と情報伝達　3	耳の構造と機能
	4	感覚と情報伝達　4	聴覚と平衡感覚
	5	感覚と情報伝達　5	眼の構造と機能
	6	感覚と情報伝達　6	視覚・小テスト
	7	生殖器　1	犬、猫の雄の生殖器
	8	生殖器　2	犬、猫の雌の生殖器
	9	内分泌とホルモン　1	外分泌と内分泌、傍分泌・小テスト
	10	内分泌とホルモン　2	内分泌臓器の構造と機能
	11	内分泌とホルモン　3	各種ホルモン①（ペプチド、ステロイド、アミン系）
	12	内分泌とホルモン　4	各種ホルモン②（ペプチド、ステロイド、アミン系）
	13	内分泌とホルモン　5	各種ホルモン③（ペプチド、ステロイド、アミン系）
	14	内分泌とホルモン　6	ホルモンの作用と標的器官①・小テスト
	15	内分泌とホルモン　7	ホルモンの作用と標的器官②

授業科目	動物形態機能学Ⅳ	担当教員 実務経験	岩崎　忍 有：■　　無：□	動物病院
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年・後期	担当教員 実務経験		
授業形態				
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		

授業科目	動物薬理学Ⅰ	担当教員	中村　匡佑		
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態		授業回数	15 回	時間数	30 時間
授業目的	代表的な薬物の体内動態と作用機序、臨床応用及び副作用について学び、動物の疾病の判断や治療にどのように用いられるかを理解する。				
到達目標	薬理の基礎と、呼吸器系、消化器系、神経系の薬物について理解する。				
テキスト・参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ 2 巻　動物病理学/動物薬理学				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準
	試験	70	評価試験：70% 小テスト：30%
	レポート		
	小テスト	30	
	提出物		
	その他		

履修上の留意事項	

履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容
	1	愛玩動物看護師による薬物の取り扱い	薬理学概論
	2	動物薬理学の基礎　1	薬と薬理作用(発現機序)
	3	動物薬理学の基礎　2	剤形と投与方法
	4	動物薬理学の基礎　3	薬の動態
	5	動物薬理学の基礎　4	薬効の因子と有害作用
	6	呼吸器系 1	呼吸興奮薬、鎮咳薬
	7	呼吸器系 2	抗喘息薬
	8	消化器系 1	制吐薬、催吐薬、小テスト
	9	消化器系 2	止瀉薬、瀉下薬
	10	消化器系 3	その他の消化器に関わる薬
	11	神経系　1	神経系の基本
	12	神経系　2	全身麻酔薬
	13	神経系　3	局所麻酔薬
	14	神経系　4	鎮痛薬、鎮静薬
	15	神経系　5	その他の神経系に関わる薬、小テスト

授業科目	動物薬理学Ⅰ	担当教員 実務経験	中村　匡佑 有：■　　無：□	動物病院
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年・後期	担当教員 実務経験		
授業形態				
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		

授業科目	動物栄養学Ⅰ	担当教員	佐藤　真帆		
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科２年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態		授業回数	15 回	時間数	30 時間
授業目的	５大栄養素やその代謝など基礎栄養学を学ぶとともに、ライフステージや疾患ごとの違い、各種療法食の特色や給餌方法などを修得する。				
到達目標	基礎栄養と栄養要求量、フードについて理解する。				
テキスト・参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ８巻　動物栄養学／動物外科看護学／動物医療コミュニケーション				

評価方法・評価基準

評価方法	評価割合(%)	評価基準
試験	70	評価試験：70% 小テスト：30%
レポート	0	
小テスト	30	
提出物	0	
その他	0	

履修上の留意事項

履修主題・履修内容

回	履修主題	履修内容
1	基礎栄養学　1	５大栄養素とは
2	基礎栄養学　2	消化器の構造、消化・吸収の仕組み
3	基礎栄養素　1	たんぱく質とは
4	基礎栄養素　2	炭水化物とは
5	基礎栄養素　3	脂質とは
6	基礎栄養素　4	ビタミンとは
7	基礎栄養素　5	ミネラルとは
8	基礎栄養学　3	食性、嗜好、嗜好性、摂食行動、小テスト
9	栄養要求量　1	栄養基準とは
10	栄養要求量　2	エネルギー要求量とは
11	栄養要求量　3	計算方法
12	ペットフード学　1	ペットフードの種類、分類・小テスト
13	ペットフード学　2	ラベル表示の理解
14	ペットフード学　3	中毒、給餌不可食品
15	ペットフード学　4	栄養状態評価と肥満に関して・小テスト

授業科目	動物栄養学Ⅰ	担当教員 実務経験	佐藤　真帆 有：■　　無：□	動物病院
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年・前期	担当教員 実務経験		
授業形態				
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		

授業科目	動物栄養学Ⅱ	担当教員	佐藤　真帆		
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科２年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態		授業回数	15 回	時間数	30 時間
授業目的	５大栄養素やその代謝など基礎栄養学を学ぶとともに、ライフステージや疾患ごとの違い、各種療法食の特色や給餌方法などを修得する。				
到達目標	ライフステージごとの栄養管理と、疾病と栄養の関わりを理解する。				
テキスト・参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ８巻　動物栄養学／動物外科看護学／動物医療コミュニケーション				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準
	試験	70	評価試験：70% 小テスト：30%
	レポート		
	小テスト	30	
	提出物		
	その他		

履修上の留意事項	

履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容
	1	ライフステージ別の栄養管理　1	哺乳期・離乳期の栄養管理
	2	ライフステージ別の栄養管理　2	成長期・維持期の栄養管理
	3	ライフステージ別の栄養管理　3	妊娠・授乳期の栄養管理
	4	ライフステージ別の栄養管理　4	高齢期の栄養管理
	5	ライフステージ別の栄養管理　5	ライフステージに合わせた手作り食での栄養管理
	6	疾病と栄養　1	アレルギーの食事療法・小テスト
	7	疾病と栄養　2	尿路疾患の食事療法
	8	疾病と栄養　3	消化器疾患の食事療法
	9	疾病と栄養　4	腎不全の食事療法
	10	疾病と栄養　5	糖尿病の食事療法
	11	疾病と栄養　6	口腔疾患の食事療法
	12	疾病と栄養　7	肝疾患の食事療法
	13	疾病と栄養　8	心疾患の食事療法・小テスト
	14	強制給餌経管・静脈栄養法1	強制給餌の方法と注意点
	15	強制給餌経管・静脈栄養法3	チューブ、カテーテルの設置手順と管理法・小テスト

授業科目	動物栄養学Ⅱ	担当教員 実務経験	佐藤　真帆 有：■　　無：□	動物病院
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 2 年・後期	担当教員 実務経験		
授業形態				
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		